

## 季節感「夏」について

—— 季節の移り変わりを何から感じとるか ——

佐藤 勝洋\*

(1991年12月9日受理)

Katsuhiro SATO

The Feeling of Summer

—— How do People Feel Changes of the Seasons ? ——

中学校理科の「天気の変化」という単元では、気象現象や季節の変化を扱う。単元に入る前に生徒たちに、気象現象について関心を向けさせることを目的として「天気日記」なるものをつけさせた。冬休みの2週間、その日その日の天気や気象に関したことをさがして、10行程度で記録する。天気や気象に関係していることならどんなことでもよい、という条件にした。

「天気日記」で取り上げられていた対象は様々で、広範にわたっていた。このことに着目して、生徒(人々)は「季節の変わり目をどんなことから感じとるのか?」ということ調べた。今回はその中から、「夏」の季節感について述べてみたい。

〔キーワード〕 季節の変化, 季節感, 自然現象, 人為的現象

### 1 はじめに

地球はその地軸を公転面に対して一定の角度を保ちながら公転しており、地球上では公転にともなって、太陽高度と日照時間が変化していく。季節の変化はこのようにして起こる自然現象である。このことはよく知られていることである。日本のように季節の変化がはっきりしているところでは、太陽高度と日照時間の変化がもたらす気象現象や動植物の変化が四季を特徴づけている。この研究では、生徒が身近な自然や生活の中のどんな変化から、「夏」を感じとったのかを調べたものである。また、比較のため小学生(6年)、大学生、および一般人(生徒の親)についても同様にして調査したものである。

---

\*岩手大学教育学部附属中学校

## 2 調査方法

### (1) アンケート調査

調査はアンケートによって行った。アンケートは次の内容で実施した。

アンケートを取る際に「夏から連想することを書くのではなく、実際に見たり、出会ったり、感じたりした体験を書くこと」を特に要請した。

〔アンケート用紙の内容〕

<p>〔季節感〕調査 〔夏〕</p> <p>〔 月 日〕年組 番氏名</p> <p>1 最近「もう、夏だな」と感じたことがありますか。</p> <p>・はい      ・いいえ</p> <p>2 (「はい」とこたえた人に) 夏だと感じたのはどんなこと(もの)からですか。具体的にあげてください(いくつでも)。</p>
--

### (2) 調査対象と調査期日

▷岩手大学教育学部

- |           |             |         |               |
|-----------|-------------|---------|---------------|
| (1) 附属小学校 | 6年生2クラス     | 80名(男女) | 1991.6.29・7.1 |
| (2) 附属中学校 | 1年生2クラス     | 80名(男女) | 1991.6.29     |
| (3) 附属中学校 | 3年生2クラス     | 80名(男女) | 1991.7.2・7.4  |
| (4) 学 生   | 2～4年次学生     | 96名(男女) | 1991.6.29     |
| (5) 一 般   | (附属中学校生徒の親) | 65名(女)  | 1991.7.9      |

※ 調査対象の学生は、教育学部の井上雅夫先生の講座(理科教材研究)を受講する2年次～4年次の学生である。また、一般というのは本校生徒の親(母親)で、研修会の際に参加した方々に協力していただいた。

### 3 アンケート調査の集計方法

(1) アンケート対象を上あげた5つの区分にしたので、後で比較することを考えて、次のように抽出して集計した。

- ① アンケート対象とした(1)~(4)は〔アンケートの1〕で「はい」と答えた中から男子25名、女子25名を無作為に抽出して集計した。
- ② アンケート対象の(5)は全て女性(30代~50代)で、〔アンケートの1〕で「はい」と答えた中から50名を無作為に抽出して集計した。

(2) アンケートのまとめ方

- ① アンケートの答え方は記述式で自由に書いてもらう形式(添付したアンケート資料例を参照)なので、集計は内容によって項目ごとにまとめた。
- ② 項目ごとにまとめたものを、さらに同類内容のもので分類して次のA~Lの12に区分した。

- A 気象現象
- B 天文現象
- C 視覚、聴覚による(自然環境の変化等に対する)感覚
- D 心身状態・体感(気温の上昇等に伴う身体の反応や感覚)
- E 生きもの・夏の小動物
- F 植物
- G 食べもの、飲みもの
- H 服装や暮らし一般
- I 学校生活
- J デパート・店・店頭
- K 夏の風物
- L テレビ等

### 4 アンケート結果について

アンケート調査を集計した結果を次頁以下の表に示す。











〔季節感アンケート〕の集計結果 (その2)

「各区分にあげられた項目数」

(※ 小計は 小6, 中1, 中3, 大学生のみ)

区 分	全体	※小計		小 6		中 1		中 3		大学生		親
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
A 気象現象	152	61	61	24	15	7	13	14	14	17	19	30
B 天文現象	58	33	25	5	4	3	4	13	16	11	2	0
C 視覚, 知覚による感覚	89	35	38	10	3	1	8	10	11	13	16	16
D 心身状態・体感	251	22	04	28	18	33	35	39	32	20	19	25
E 生きもの, 夏の小動物	116	48	47	11	9	6	3	18	11	13	24	21
F 植物	27	0	8	0	3	0	0	0	2	0	3	19
G 食べもの, 飲みもの	118	42	40	11	12	3	2	11	13	13	16	36
H 服装や暮らし一般	237	07	06	31	37	16	12	36	34	25	25	23
I 学校生活	122	56	59	25	21	8	6	12	13	11	19	7
J デパート, 店, 店頭	73	27	42	5	7	9	11	8	17	5	7	4
K 夏の風物	47	22	17	1	4	0	2	13	3	8	8	8
L テレビ等	20	9	8	0	1	1	0	6	3	2	4	3

## 5 結果について

### A 気象現象

「気温の高さ」はどの区分にもあげられており、「暑い」という体感と合わせると250人中168項になる。夏は四季の中で、気温が高く暑い季節ということで当然といえる。

### B 日照時間

日照時間や日の出、日の入り時刻の変化など、季節変化による天文現象の違いをあげたのは、全体で58項あった。この内の半数にあたる29項は中学3年生があげていることに注目したい。次に大学生、中学1年生とつづく。それにたいして一般（親）は1項目もあげていない。中学生、大学生は日中の大部分を学校で生活しており、通学の登下校時に感じる太陽の上り加減や日暮れ時刻について、かなり意識しているのとれる。

### C 草木の緑、成長

草木が生い茂り、木々の緑色の変化をあげたのは42人いる。この項目は中学1年生では0で、一般は15項あがっている。その差が何によるのか、興味を引かれるところである。

### D 心身状態、体感

この項で多くあげられたものを順に並べると「暑い」「汗が出る」「冷たいものをとりたいたい」「寝苦しい」「日焼け」と続く。これらは、主として気温の上昇に対する心体の反応である。4つの季節の中で夏という季節に対するもっとも特徴的な反応といえる。この項目がどの区分より多くあがった項目である。

### E 生きもの、夏の小動物

「虫が出てきたこと」から夏を感じとっているのは調査対象のどの区分にもあがっている。この場合どんな虫を指しているかは不明である。ただ、「虫が多く集まってくる」「虫がたくさん出てきた」という書き方をしているのは、小さな羽虫や明かりに集まる虫のことと読み取れる。夏を代表する昆虫であるセミが全体で13、トンボが5、チョウ（アゲハを含む）4と少ない感じを受ける。時期的に早いということもあろうが、実際出ているのであるから、目にふれる機会はやはり少ないのだろう。

### F 植物

季節を感じさせる生物のうち、植物は動物ほどはあがっていない。ひまわりと朝顔は3

と2あがっているが、自然の状態での開花時期には少し早い。温室とか切り花か。小学生～大学生に比べ、花をあげているのは親が多い。親以外の区分には全くあがっていない花も4種ある。その中には切り花や生け花(用)もあると思われる。この時点ではまだ、夏を思わせる花(あるいは植物)は時期的に早く、まだ、あまり見ないということか。

#### G 食べもの、飲みもの

スイカ、アイスクリーム、かき氷が目につく。冷やし麺類は学生に多いのは、学生食堂のメニューに出てきたことと関係があるからであろう。飲み物ではビールが他のものに比べて多い。ビールは親と学生、中3年の男子があげている。

#### H 服装や暮らし一般

夏服、白い色の服装、それに半袖姿(Tシャツを含む)、半ズボンを加えると145になる。クーラー、エアコン、扇風機は合わせて52ある。7月(カレンダー)は小学6年が9名、中学3年生が6名あげている。

デパートの洋品売場には明らかに実際の季節より相当早い時期に「季節のもの」として展示されたり、売出しが行われる。たとえば、真夏に「夏物」を買いに行ったとしても、売場はほとんど「秋もの」になっていて、まず手には入らないという具合である。ファッションは季節の暑さ寒さに合わせて着用しているより、いつも季節を「先取り」して街に現れる。「制服」もまた「暑さ寒さ」よりカレンダーによって衣替えが行われる。

#### I 学校生活

プール(プール開き)はどの区分でもあげられており104項。特に小学6年では男子の22、女子で15名(いずれも25名中)もあげているのは、学校のプール(開き)が始まったのか。

#### J デパート、店(店頭)

「かき氷の旗」がどの区分にもあげられ、夏の季節感と結びついている。デパート、店(店頭)の夏物用品、清涼飲料やビールの広告、花火、アイスいずれも店に出ていることをあげている。

### K 夏の風物

花火を実際に見たりしたことや風鈴から夏を感じるのは小学生から親までであるが、夏まつり（その太鼓の音）（8名）、うちわ（6）、蚊とり線香（4）では中3年、学生、親がほとんどであるのは体験のちがいか。

### L テレビ等から

夏もののコマーシャル、最高気温のニュース、高校野球などテレビの視聴から夏の到来をあげているのは中3、学生、親が多い。小6や中1が視聴しないというより、見る番組や関心の持ち方にちがいがあのかも知れない。

## 6 全体のまとめ

この調査結果は「夏からの連想」をあげるのではなく、「夏」を感じた実際の体感や体験をあげる、という条件で書いてもらった結果である。結果でみたように、ほとんど同じ時期に「夏」を感じた対象は広範にわたっていること、人により「夏」を感じとった対象が多種多様である。

この集計結果のA～Lまでの区分は季節の移り変わりに伴う、「自然現象・事象の変化」、「季節変化に対する身心の反応」そして「暮らしや一般生活上の変化」のように分類区分することができる。アンケートにあげられた項目をこの分類区分でまとめると次のようになる。

I 「自然現象・事象の変化」	(A, B, C, E, F)	442項
II 「季節変化に対する身心の反応」	(D)	251項
III 「暮らしや一般生活上の変化」	(G, H, I, J, K, L)	617項

この結果で見るとⅢの「暮らしや一般生活上の変化」をあげている項目数がⅠの「自然現象・事象の変化」の項目をあげた数よりも多いことがわかる。季節の変化は純粋に自然現象である。しかし、この集計結果は「夏」を感じた対象が、自然の変化の中に見出されるものより、生活のなかの人為的といえるもののほうが多いことを示している。人為的といっても、季節を想定あるいは前提としているという点では、季節から全く遊離したものではなく、間接的につながっているといえる。しかし、その中には服装のところで述べたように、季節を先取りして人為的に季節感がつくり出されているものも多くある。

夏のたべものや飲み物の中でアイスクリームやビールが多くあげられていた。「アイスが食べたい」や「美味しく感じるようになった。」あるいは「ビールがうまい」と書いているのは「夏の暑さ」にたいする身体の反応ともいえる。アイスクリームやビールは、今

は、夏だけ出回るというものではない。一年を通じてどこでも売られているし、多い少ないという差はあるものの、現に年中飲食されているものである。このことから考えると、アイスクリームやビールから「夏」を感じるのは、それが出回ってきたからということではなさそうである。「ビールの宣伝やコマーシャルから」や「街の中で(店で)見るビールやアイスの広告のポスターから」をあげているのは、夏の季節になると出てくるこれらのコマーシャルやポスターとが結びついているものか。いろいろな種類のアイスクリームが年中、どこでも売られるようになったのは、日本では近年のことである。アイスクリームが氷菓子の1つとして、かつては暑いとき(季節)の食べ物として売り出されていた。人によっては、その時代の夏の食べ物というイメージが残っていて、夏を想起させているのであろうか。このように考えてみると、人為的に作られたものから季節感を感じ取る部分がかかなりあると言えそうである。

自然の事象、現象の変化や動植物についてみると、特に動植物について具体的になまえまであがっているものは思ったより少ない。アンケート対象にした人の生活地(盛岡市)によるものと考えられる。しかし、夏に現れる小動物や植物に出合ったり、見たりする機会が同地域で減っているかどうかは、比較できる過去のデータがないため、はっきりしたことは言えない。ちがう地域で調査したとしたら、結果が今回の結果とは、大きく違って出てくることが予想される。

## 7 おわりに

季節の変わり目の季節感覚について、今回は「夏」を調べた。季節の移り変わりを四季を通じて比較すると、さらに興味ある結果が出てくるのではないかと予想される。夏から秋、秋から冬への、季節の変わり目の「季節感」について、中学生を対象に調べたものがあるので次の機会に報告したいと考えている。

最後に、今回の調査研究にあたり、教育学部の井上雅夫先生には、アンケート調査の収集について全面的に協力していただくとともに、この調査結果についても貴重な示唆や助言をいただいた。また、附属小学校の菅野先生および6年生の担任の先生にもアンケート資料の収集にあたりご協力をいただいた。その他アンケートに快く協力していただいた方々へも、深く感謝申しあげたい。

## 8 【アンケート調査結果の例】

〔季節感〕小6-2

19910629

- 10  
 ・日が長くなった ・暑くなった ・プールに水が入った ・半そでを着るようになった ・車の中でクーラーをかける
- 11  
 ・暑い（気温が高い） ・日が長い ・午後7時ごろでも明るい ・プールに水が入った
- 12  
 ・花火が売られている ・一日が長い ・暑い ・プールに水が張られた
- 13  
 ・気温が上がってきた ・自分が冷たいものを食べなくなったり飲んだりしなくなった ・ちょうちょ等の虫がよくそのへんに顔を出している ・みんな半そで短パン姿が多い ・日が長くなった（日がくれるのがおそくなった） ・汗がすぐ出る ・プール開きが近い ・水がぬるい（水道水） ・冷ぞう庫に入っているなまものがすぐくさったりいたんでいる
- 14  
 ・暑くなった ・はだか黒くなった ・かき氷を食べた ・30℃近くになった ・花に水をやってもすぐかわききった
- 15  
 ・気温 ・周りの人の服装 ・天気 ・植物 ・プール開き ・昆虫  
 ・景色
- 16  
 ・暑い ・虫が出てきた ・まわりの人が半そでや半ズボンをはいたりしている
- 17  
 ・暑さが増してきたこと ・デパートなどの店先で夏物を売っている ・鳥たちの種類がちがってきた ・庭の草花（雑草）の種類が変わっている ・木の葉の色も変わっている ・雲も入道雲らしいものがでている ・カラッとしている（天気が）
- 18  
 ・プールに水が入ったから ・気温が23℃をこしたから ・スポーツ店も夏の海などの海水用品を売り出しているから ・そろそろ夏休みだから ・アイスがおいしいから ・つめたい水がのみたくなるから
- 19  
 ・暑いから ・昼が長いから ・ハエが飛んでいるから ・地面が熱いから  
 ・夏休みが近いから ・温度が高いから

〔中学3年(女子)〕

21

・直観 ・コンビニ ・気温 ・空 ・プール ・校庭 ・服 ・  
 わが家 ・運動会 ・ベッド ・風 ・ふろば ・水 ・教室 ・  
 木 ・先生 ・星 ・遊ぶ時 ・月 ・鳥 ・山 ・ごみを出す時  
 ・マンガ ・勉強中 ・OAV ・ねる時 ・絵をかくとき ・太陽  
 ・朝 ・昼

22

・気温が高くなってきた ・きのう大日さんのおまつりがあったから ・何か  
 していると(外で)すぐのどがかわいたり冷たいものが食べなくなったりするから  
 ・気温が高くなってきたのに、似ててすぐ汗をかくから ・陸上記録会の練習が  
 はじまったから

23

・むし暑くてせん風機がほしくなる ・日ながい ・ネコの毛がぬける  
 ・日が強い ・プールに水が入った ・服装が変わった ・暑いから

24

・日ざしが強くなり、気温が高くなったこと(あせが出てくる) ・草木の色が  
 かわり桜が散ったこと ・のどがかわいたり、冷たい物がほしくなったこと  
 ・もうすぐプールがあること ・みんなが着ているいるいがうすく暑さをしのぐ  
 ものになったこと

25

・毎日の気温が高くなったから ・みんなや自分のふくそうが夏らしい副になっ  
 てきたから ・お店やテレビ等の宣伝とかで、夏のものや夏に関するものが多い  
 から ・プールに水を入れたしプール開きがまちかだから ・お店などで売っ  
 ているものが夏のものだから

26

・暑いから ・もう7月にはいるから ・期末テストが近いから(夏休みが近  
 い) ・屋外のプールが開いたから ・プール開きが始まるから

27

・暑くなってきたから ・デパートでクーラーをかけているから ・みんな  
 半そでを着ているから ・うすい服をきているから ・雪がふらなくなったか  
 ら ・虫かでてきているから ・バスが遅れないでくるようになったから  
 ・冷たいものを好むようになったから ・デパートで夏服バーゲンをやっている  
 から ・学校のプールに水が入ったから

28

・プール開きが始まったところがあるから ・気温が高いから ・つゆあけ  
 したところがあるから ・市内陸上記録会が3日あって近づいているから  
 ・あさがおがさいているから ・日が長くなっているから ・アイスがおいし  
 いから ・氷が冷たく感じてきたから

〔大学生〕

1

・長く暗い梅雨が明けて、青空がのぞき気温が上がり、街をゆき交う人々がレインコードを脱ぎ捨て、夏の開放的な服装となった時

2

・夏特有の蒸し暑さ ・日の長さ ・お店に盛んに出回る食べ物（例えば、かき氷、スイカ、ひや麦） ・近所から聞こえる風鈴の音 ・近くの広場から聞こえる「さんさ踊り」の太鼓の音

3

・夜、光に虫が集まっているのを見た時 ・エアコンの効いた室に入った時プールに入った時 ・天気予報で最高気温が30℃を越えている時

4

・6月27日静岡県で6月の最高気温36.8℃を記録した ・洗濯物が半日でかわく ・体育の授業がプールになった ・食事で冷やし素麺など冷たい麺類を食べる機会が多い ・暑さで気分が悪くなったりする  
・蚊にさされた

5

・高気温 ・日が高い ・高湿度 ・体育でプールを使用 ・夏服

6

・気温が高くなって日差しが強く、日陰が恋しい時 ・プールがはじまったことから ・花火が売られているのを見た時 ・バイト先でビールが異常に売れる時 ・日やけで黒くなったことから ・蚊や蛾が飛んでいる時 ・ビアガーデンがはじまった時 ・太陽がカッと照っている時 ・木の緑が目にしみる時

7

・葉があざやかな緑になったり、夏に咲くような植物が目についてきたから・朝起きた時に空気が夏らしい（うまく表現できないが）と感じたこと ・暑くなり汗が自然に出たり、アイスを食べたくなること ・プールに入るようになった

8

・サークルで毎年行っている夏合宿の準備が本格的にはじまったとき ・実家の母から新しい夏物の服が送られてきた時 ・近隣の家から風鈴の音が聞こえた時  
・山でセミの鳴き声を聞いた時（まだ1度ですが）

9

・家庭教師先でスイカを食べたこと ・体育で水泳の授業が行われた ・まわりのひとが半袖の洋服を着るようになった

10

・気温が高くなった（静岡では38℃にまでなった） ・夜に小さい虫が家の中に入ってくる ・プールに入る ・蠅が増えてきた

## 〔一 般 (PARENTS)〕 19910709

- 1  
 ・果物がでまわっている ・温度、湿度が高い ・暑さがすごくうっとうしい
- 2  
 ・気温が高い日がある ・植物がよく繁ってきた（家のクジャクサボテンが咲いた）  
 ・子どもが「つなぎプール」に行きたいと言う
- 3  
 ・あじさいの花を見ての季節感 ・衣類の様子と必要性で感じています ・動く度に汗が出ます  
 ・虫の声を聞きました ・夜、電灯の明かりにどんどん虫が飛ぶ様になりました
- 4  
 ・スイカ ・風鈴 ・そうめん ・うちわ ・クーラー ・とうもろこし  
 ・さんさ踊り
- 5  
 ・プール開き ・夏まつり ・ビアガーデン ・学生の夏服 ・花火
- 6  
 ・気温が高い ・むぎ茶、ビールがおいしい ・外出すると汗ばむ ・夏の花が咲きはじめた
- 7  
 ・暑さ ・あじさいの花 ・トンボ
- 8  
 ・日差し ・山の色 ・和菓子の種類 ・ビアホールの開店
- 9  
 ・畑の麦 ・白いそばの花 ・女の人の服装 ・新聞のちらしの内容 ・庭を  
 を行き交うアリ ・花だんの草花 ・津川の鮎 ・お茶室にて
- 10  
 ・夜、寝苦しい時 ・あじさいの花 ・鉄線の花 ・かき氷 ・中津川の鮎  
 ・お茶室にて
- 11  
 ・先日、平庭高原に行ってきました。山を散策しながらですが、なんと鳥の声と共に、  
 せみのなく声が聞こえたのです。今年、はじめての耳にした心地よいものでした。  
 これが夏を感じたひとときです。
- 12  
 ・木の緑の深さ ・陽ざしの強さ ・衣類のかるやかさ ・食物（もも、すいか）（氷、ビール）
- 13  
 ・暑さ ・冷たいものが食べたくなる ・水がぬるむ